

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福岡市立松島小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	5	4	4	4	0	27	40
児童数	178	166	181	158	150	147	0	980	

研究の概要

1. 研究主題

<p>自ら考え、意欲的に学習に取り組む子どもの育成 - 国語科・社会科における基礎・基本の定着を図る学習指導方法の工夫改善を通して -</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

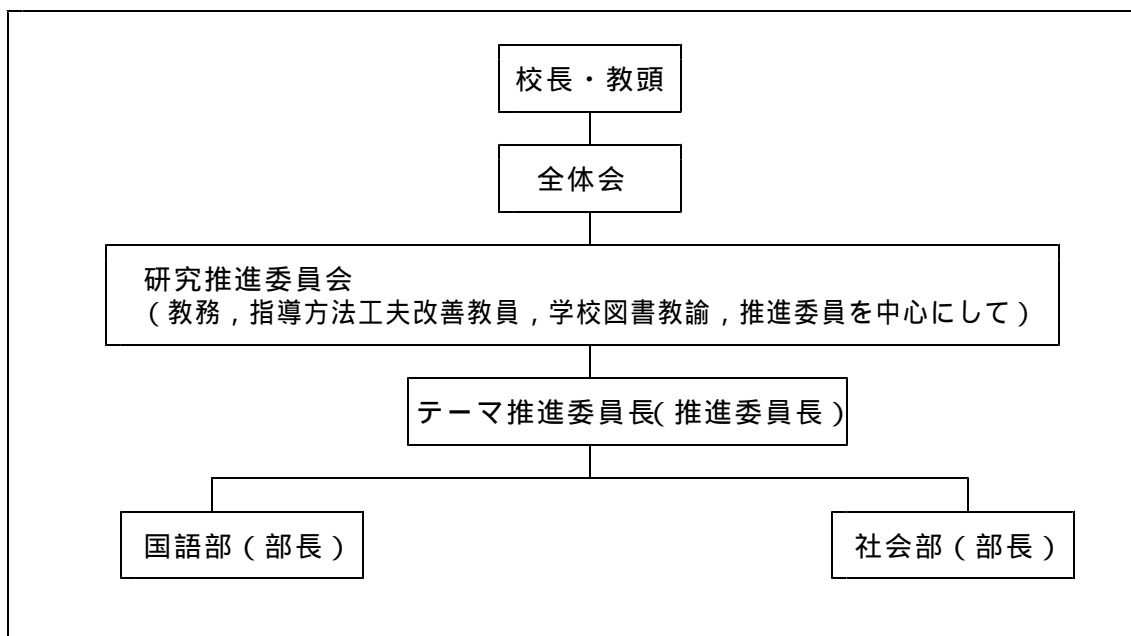
1年生：国語科	(全教科の基盤となる言語力の基礎・基本を確実に定着させるため)
2年生：国語科	(全教科の基盤となる言語力の基礎・基本を確実に定着させるため)
3年生：国語科・社会科	(言語力の基礎・基本の定着及び問題解決力の育成)
4年生：国語科・社会科	(言語力の基礎・基本の定着及び問題解決力の育成)
5年生：国語科・社会科	(言語力の基礎・基本の定着及び問題解決力の育成)
6年生：国語科・社会科	(言語力の基礎・基本の定着及び問題解決力の育成)

(2) 年次ごとの計画

	国語科	社会科
平成15年度	<p>テーマ 「伝え合う力を高める 国語科指導方法の改善を求めて」</p> <p>研究の見通し 各単元・各時間における評価の観点を明確にしたり子ども自らが自己評価や相互評価をしたりすることで、指導と評価の一体化を図る。 「出会う/さぐる/まとめる」の学習指導過程に ・ 個に応じた適切な支援 ・ 個に応じた交流し合う場の工夫を行う。 このような方法をとることにより、互いに伝え合う力を高める子どもが育つであろう。 研究内容・方法 全研授業・協議会，講師の講話 フロンティア公開授業・分科会</p>	<p>テーマ 「一人一人がよさを生かし，見方・考え方を高め合う社会科学習指導方法の工夫をめざして」</p> <p>研究の見通し 各単元・各時間における評価の観点を明確にしたり子ども自らが自己評価や相互評価をしたりすることで、指導と評価の一体化を図る。 「出会う/さぐる/まとめる」の学習指導過程に ・ 直接体験などが期待できる地域素材の教材化 ・ 個に応じた交流し合う場の工夫を行う。 このような方法をとることにより、一人一人がよさを生かし，見方・考え方を高め合う子どもが育つであろう。 研究内容・方法 全研授業・協議会，講師の講話 フロンティア公開授業・分科会</p>

	国 語 科	社 会 科
平成16年度	<p>テーマ 「伝え合う力を高める 国語科指導方法の改善を求めて」</p> <p>研究の見通し 各単元・各時間における評価の 観点や子ども自らが行う自己評価 や相互評価の各学年の系統化を図 る。</p> <p>「出会う／さぐる／まとめる」 の学習指導過程に ・ 補充，発展学習の効果的な位 置づけと学習活動の工夫 ・ 個に応じた交流の場の工夫</p> <p>このような方法をとることにより， 互いに伝え合う力を高める子どもが育 つであろう。</p> <p>研究内容・方法 全研授業・協議会，講師の講話 フロンティア公開授業・分科会</p>	<p>テーマ 「一人一人がよさを生かし，見方・ 考え方を高め合う社会科学習指導 方法の工夫をめざして」</p> <p>研究の見通し 各単元・各時間における評価の 観点や子ども自らが行う自己評価 や相互評価の各学年の系統化を図 る。</p> <p>「出会う／さぐる／まとめる」 の学習指導過程に ・ 補充，発展学習の効果的な位 置づけと体験的活動の工夫 ・ 個に応じた交流の場の工夫</p> <p>このような方法をとることにより， 一人一人がよさを生かし，見方・考え 方を高め合う子どもが育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 全研授業・協議会，講師の講話 フロンティア公開授業・分科会</p>

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

国語科	社会科
<p>評価（教師による評価・児童による自己評価・相互評価） を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 各单元ごとに、評価補助簿を作成したことや、評価規準をもとに各時間や活動における基準 B 児の子どもを定めることで、C 児を基準 B にするための具体的な支援が行えた。 「読み」の題材（教材）と関連させた読書指導では、少人数指導方法教員及び学校図書教諭と連携することで、読むことの楽しさを児童に味あわせることができた。 	<p>評価（教師による評価・児童による自己評価・相互評価） を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 各单元ごとに、評価補助簿を作成したことや、評価規準をもとに各時間や活動における基準 B 児の子どもを定めることで、C 児を基準 B にするための具体的な支援が行えた。 であう段階で、社会的事象を追究する際の、窓口となる人とかかわる場を設定したことで、問題解決に対する意欲の高まりや追究意欲の持続が図られた。

2. 今後の課題

国語科	社会科
<p>補充，発展学習の効果的な位置づけと学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 習熟度別，題材選択別，学習の進め方選択別コースのあり方（教師，児童，保護者）の共通理解を図る。 	<p>補充，発展学習の効果的な位置づけと体験的活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 習熟度別，題材選択別，学習の進め方選択別コースのあり方（教師，児童，保護者）の共通理解を図る。

学力等把握のための学校としての取組

<p>新観点別到達度学力実態調査（CRT）の実施 国語，社会 年1回 单元ごとの評価補助簿の作成と分析</p>

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

<p>平成15年1月22日（金）福岡市立松島小学校 1～6年生（国語科） 3年生～6年生（社会科）による公開授業・各分科会 予定 平成16年11月19日（金）福岡市立松島小学校 1～6年生（国語科） 3年生～6年生（社会科）による公開授業・各分科会</p>
--

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	有	無		